

第23号 2024年1月発行

・ 医療法人財団 立川中央病院 介護老人保健施設 アルカディア

https://www.arcadia-kaigo.com/

ございます。



# 明けまして

おめでとう



施設長 疋田 純也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より、利用者様、御家族の皆様、 地域の皆様から温かい御支援と御協力を賜り、無事新春を迎えることができま したことを心より御礼申し上げます。

引き続き、「介護専門職としての知識、技術のより一層の向上に努め、利用者様へ常に最善の支援を提供し続ける」ことを理念として活動して参ります。

過去この「フィールド」では、ユマニチュード、コロナ、フレイル、レクリエーション ツール、レスパイトケアなど、様々な活動を取り上げてきました。

### 「全ベッドを介護ロボットベッドに入れ換え」

昨年12月には、全ベッドを入れ換えて、最新のケアができる介護ロボットとも呼べるベッドに新調しております。ぜひ、皆様にこのベッドを使っていただき、その便利さ、快適さを体感していたただけたらと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 新年あけましておめでとうございます。 本年も宜しくお願い致します。

## 介護業界におけるICT

iPhone初代の発売が2007年。当時、日本で主流だったのが今ではガラケーと呼ばれる携帯(FOMAなど…)でした。 日本でスマホが普及し始めたのが2010年頃。当時、ネットワークは「3G」 モバイルデバイスによる通話、テキストメッセージ、インターネット接続が利用可能でしたが、同年10月には「4G」へアップグレードとなり、スマホの普及へと加速しましていきました。

この3Gと4Gの違いは、通信速度が10倍!!向上し、当時800MBの動画



をダウンロードに要する時間が約5時間 → 約43秒に高速化2020年3月から一部の利用対象者より利用開始しされている「5G」は理論値で「4G」の20倍の通信速度となり、先ほどの動画で例えると…

約43秒 → 約2秒 になります。

こういった急速なテクノロジーの発展により「スマホ・タブレット VR・MR・AR・AI」といった電子機器になどが大きく進化を遂げています。 進化は、一般社会だけではなく、介護業界でも同じように電子機器などが普及しはじめ、ICT化が進められています。

# ◇ICTとは!?

「Information and Communication Technology」の略で、 情報通信技術を活用したコミュニケーションの事を呼びます。

英語だけでは少しイメージしにくいのですが、これは、直接対話や書面を使って行っていたやり取りを、インターネットのような通信技術に置き換える事によっ

て、より迅速かつスマートに業務を行う事が可能になります。また、介護業界に至っては電子機器や介護ロボットを活用する

また、介護業界に全っては電子機器や介護ロボットを活用する事で、ご利用者にとってより安全で安楽となる介護サービスの提供や、介護スタッフの介護負担軽減にも繋がります。



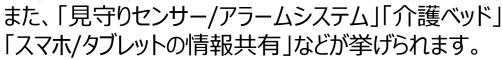
## 介護業界のICTってどんなものがあるの!?

介護は介護者が、ご利用者、ご家族とより多くコミュニケーションを図り、ニーズに合わせた介護サービスの提供を行います。この介護サービスの提供方法にICTが加わりました。



介護負担軽減しつつ、介護サービスの質の向上を目的とした「介護ロボット」









## 介護のICT化って本当に良いの!?

介護とテクノロジーってっちょっとリンクするイメージが少ないですよね!? 日本に先駆けて高齢化に直面した欧州でも、ICTは積極的に取組まれています。65歳以上のEU人口は今後50年間で2倍になり、80歳以上の数はほぼ3倍になると推計されています。「長生き」ではなく、健康的で活動的で自立した生活を送ることができる老い方(Active and Healthy Ageing)がどのようにすれば可能となるのかといった問題は、すべてのヨーロッパ諸国が共有する社会的課題であると認識されています。ただし、高齢化をリスクとして捉えるのではなく、機会として捉えることもできるとしているのが、EUの特徴です。EU諸国が、高齢化という課題に対して革新的なソリューションを提供できれば、グローバルリーダーとしての地位を確立するチャンスともなります。

※WAM NET:第一回介護分野のICT化における日本の動向・世界の動向 より一部引用

当施設でも、Wi-Fiシステムの設置や令和2年にはICT活用促進事業として「眠りスキャン」「シルエット見守りセンサー」

€として「眠りスキャン」「シルエット見守りセンサー」 「ナースコール」「PBX(電話交換機)」 ● 令和5年12月には「介護ロボットベッド」を導入

しました。職員の慣れ不慣れなどもありますが、センサー機器の

導入により過度な訪室が減少し、ご利用者のプライバシーが守られるなどのメリットがありました。



8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量などに基づき、都 道府県が推計した介護職員から日本での介護職員の必要数を見る

	必要な介護職員数	不足する介護職員数
2019年度	211万人	( - )
2023年度	233万人	22万人不足
2025年度	243万人	32万人不足
2040年度	280万人	69万人不足

と厚生労働省から公表されました。 ※介護健康福祉のお役立ち通信より引用。



サービス提供する側の人材確保が難しい中、介護サービスの質を 落とさず、ご利用者に満足して生活して頂くためにも、ICT化は重要 なPointになってくるかと思われます。

テクノロジーの急速な進化により、特定の分野だけではなく、 私たちが生活して行く全ての分野で、大きな影響をもたらし、より 住みやすい環境へと変化し続けています。

当施設でも、更なるICT化を進めつつ、ご利用者の満足度 と職員の介護負担軽減に繋げられるよう取り組んでまいります。



ここまでご覧いただきありがとうございました。今回の内容以外にも、「介護・ 看護・医療・栄養・介護保険」などのお悩みがございましたら、お気軽にご相 談ください。



042 (569) 3900

C

ą

東京都武蔵村山市三ツ藤十 98 1アルカディア 介護老人保健施設 nfo@arcadi g o 0

https://onl.sc/YPRSzEu



https://onl.sc/m ~WFFgc



X

ホームページ https://onl.sc/icQixT

等の紹介もしております。 ージでは施設内や行事 までまでお問い合わせくださいご興味のある方は左記の連絡先〉施設見学をお受けしております をお伝えします。 次回も、皆様へお役立ち情報等

FIELD >フィ をご覧頂き 誠に有難うございます。 ルド

近隣地域向